

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和7年6月16日

香川県知事 殿

提出者

住 所 香川県三豊市詫間町松崎2791

氏 名 東洋炭素株式会社 詫間事業所

事業所長 曾根清文

電話番号 0875-83-6171



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋炭素株式会社 詫間事業所
事業場の所在地	香川県三豊市詫間町松崎2791
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	製造業
② 事業の規模	資本金:79億円(2024.12.31現在) 年間売上高(東洋炭素(株)単体):391億円(2024年12月期)
③ 従業員数	詫間事業所 従業員数:598名(2024.6.1現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図)	
別紙2参照	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																																								
①現状	【前年度(令和6年度)実績】 単位:t																																							
	<table border="1"> <tr> <th>産業廃棄物の種類</th> <th>鉍</th> <th>さ</th> <th>い</th> <th>廃アルカリ</th> <th>廃アルカリ</th> <th>廃油</th> <th>汚泥</th> <th>廃酸</th> <th>廃プラスチック類</th> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>1492.7</td> <td>1077.6</td> <td>708.2</td> <td>157.8</td> <td>53.6</td> <td>24.9</td> <td>37.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>鉍</td> <td>プラスチック類</td> <td>汚泥</td> <td>泥</td> <td>が</td> <td>れ</td> <td>き</td> <td>類</td> <td>ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず</td> <td>金属くず</td> </tr> <tr> <td>10.0</td> <td>4.0</td> <td>0.1</td> <td>14.4</td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	産業廃棄物の種類	鉍	さ	い	廃アルカリ	廃アルカリ	廃油	汚泥	廃酸	廃プラスチック類	排出量	1492.7	1077.6	708.2	157.8	53.6	24.9	37.5		廃プラスチック類	鉍	プラスチック類	汚泥	泥	が	れ	き	類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	10.0	4.0	0.1	14.4	0.5	1.5			
	産業廃棄物の種類	鉍	さ	い	廃アルカリ	廃アルカリ	廃油	汚泥	廃酸	廃プラスチック類																														
	排出量	1492.7	1077.6	708.2	157.8	53.6	24.9	37.5																																
廃プラスチック類	鉍	プラスチック類	汚泥	泥	が	れ	き	類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず																														
10.0	4.0	0.1	14.4	0.5	1.5																																			
<p>(これまでに実施した取組)</p> <p>鉍さい:有価処理推進。 廃プラスチック:分別による、埋立→リサイクル処理へ転用推進。 廃アルカリ:中間処理の正常運転維持による委託処理量削減。 廃油:工程毎に発生したものをそれぞれ用途毎に分別識別管理し、有価物への転用を推進する。 その他:工程毎に発生したものをそれぞれ用途毎に分別し、識別管理する。社内分別教育を実施し、適正排出を推進する。</p>																																								
②計画	【目標】 単位:t																																							
	<table border="1"> <tr> <th>産業廃棄物の種類</th> <th>鉍</th> <th>さ</th> <th>い</th> <th>廃アルカリ</th> <th>廃アルカリ</th> <th>廃油</th> <th>汚泥</th> <th>廃酸</th> <th>廃プラスチック類</th> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td>1,447.9</td> <td>1,045.2</td> <td>687.0</td> <td>153.1</td> <td>51.9</td> <td>24.2</td> <td>36.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>廃プラスチック類</td> <td>鉍</td> <td>プラスチック類</td> <td>汚泥</td> <td>泥</td> <td>が</td> <td>れ</td> <td>き</td> <td>類</td> <td>ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず</td> <td>金属くず</td> </tr> <tr> <td>9.7</td> <td>3.9</td> <td>0.1</td> <td>14.0</td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	産業廃棄物の種類	鉍	さ	い	廃アルカリ	廃アルカリ	廃油	汚泥	廃酸	廃プラスチック類	排出量	1,447.9	1,045.2	687.0	153.1	51.9	24.2	36.3		廃プラスチック類	鉍	プラスチック類	汚泥	泥	が	れ	き	類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	9.7	3.9	0.1	14.0	0.5	1.5			
	産業廃棄物の種類	鉍	さ	い	廃アルカリ	廃アルカリ	廃油	汚泥	廃酸	廃プラスチック類																														
	排出量	1,447.9	1,045.2	687.0	153.1	51.9	24.2	36.3																																
廃プラスチック類	鉍	プラスチック類	汚泥	泥	が	れ	き	類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず																														
9.7	3.9	0.1	14.0	0.5	1.5																																			
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>全て:①現状 を継続する。</p>																																								

産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	<p>(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>廃アルカリ:中間処理するもの、廃棄物処理するものを、それぞれ工程別に分別し、識別管理する。 鉍さい、廃油:有価物と廃棄物を分別し、識別管理する。 その他:工程毎に発生したものをそれぞれ用途毎に分別し、識別管理する。社内分別教育を実施し、異物混入防止を推進する。</p>
②計画	<p>(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>全て:①現状を継続する。</p>

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度(令和6年度)実績】							単位:t	
	産業廃棄物の種類	鉍	さい	廃アルカリ	廃アルカリ	廃油汚	泥	酸	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0
(これまでに実施した取組)									
全て:技術的検討が必要。情報・資料収集継続。									
②計画	【目標】							単位:t	
	産業廃棄物の種類	鉍	さい	廃アルカリ	廃アルカリ	廃油汚	泥	酸	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組)									
全て:技術的検討、情報・資料収集継続。									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度(令和6年度)実績】							単位:t	
	産業廃棄物の種類	鉍	さい	廃アルカリ	廃アルカリ	廃油汚	泥	酸	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0	987.2	0	0	0	0	0	0
②計画	【目標】							単位:t	
	産業廃棄物の種類	鉍	さい	廃アルカリ	廃アルカリ	廃油汚	泥	酸	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0	0
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	957.6	0	0	0	0	0	0
(今後実施する予定の取組)									
廃アルカリ:中間処理正常運転継続の推進。 その他:技術的・設備的検討が必要。情報・資料収集継続。									

(第4面)

東洋炭素株式会社 詫間事業所

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項							
【前年度(令和6年度)実績】							単位:t
産業廃棄物の種類	鉍	さい	廃アルカリ	廃アルカリ	廃油汚	泥	酸
①現状	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の種類	鉍	さい	廃アルカリ	廃アルカリ	廃油汚	泥	酸
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	汚泥	がれき	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず			
0	0	0	0	0	0		
(これまで実施した取組)							
全て:無し							
【目標】							単位:t
②計画	0	0	0	0	0	0	0
産業廃棄物の種類	鉍	さい	廃アルカリ	廃アルカリ	廃油汚	泥	酸
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	汚泥	がれき	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず			
0	0	0	0	0	0		
(今後実施する予定の取組)							
全て:無し							
産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
【前年度(令和6年度)実績】							単位:t
①現状	1492.7	90.4	708.2	157.8	53.6	24.9	37.5
産業廃棄物の種類	鉍	さい	廃アルカリ	廃アルカリ	廃油汚	泥	酸
全処理委託量	1492.7	90.4	708.2	157.8	53.6	24.9	37.5
優良認定処理業者への処理委託量	1492.7	90.4	708.2	157.8	53.6	24.9	37.5
再生利用業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	13.4
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	汚泥	がれき	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず			
10.0	4.0	0.1	14.4	0.5	1.5		
0	4.0	0.1	14.4	0.5	1.5		
10.0	4.0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
0	0	0	0	0	0		
(これまで実施した取組)							
全て: 有価処理移行の推進。 分別による再生利用業者処理の推進継続。 優良認定業者の情報収集、処理移行の推進。							

(第5面)

東洋炭素株式会社 詫間事業所

【目標】		単位:t										
産業廃棄物の種類	鉦さい	廃アルカリ	廃アルカリ	廃	油污	泥	廃酸	廃プラスチック類				
全処理委託量	1447.9	87.7	687.0	153.1	51.9	24.2	36.3					
優良認定処理業者への処理	1447.9	87.7	687.0	153.1	51.9	24.2	0					
再生利用業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	36.3					
認定熱回収業者への処理委託	0	0	0	0	0	0	0					
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0					
廃プラスチック類	廃プラスチック類	汚	泥	が	れ	き	類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金	属	く	ず
9.7	3.9	0.1	14.0	0.5	1.5							
9.7	3.9	0.1	14.0	0.5	1.5							
9.7	3.9	0	0	0	0							
0	0	0	0	0	0							
0	0	0	0	0	0							
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>全て: 有価処理移行の推進継続。 分別による再生利用業者処理の推進継続継続。 新規優良認定業者の情報収集、処理移行の推進継続。</p>												
※事務処理欄												

- 鉛さい: カarbon製品及びその原料からの発生
- 鉛さい: 副資材 (Carbon製品及びその原料以外からの発生)

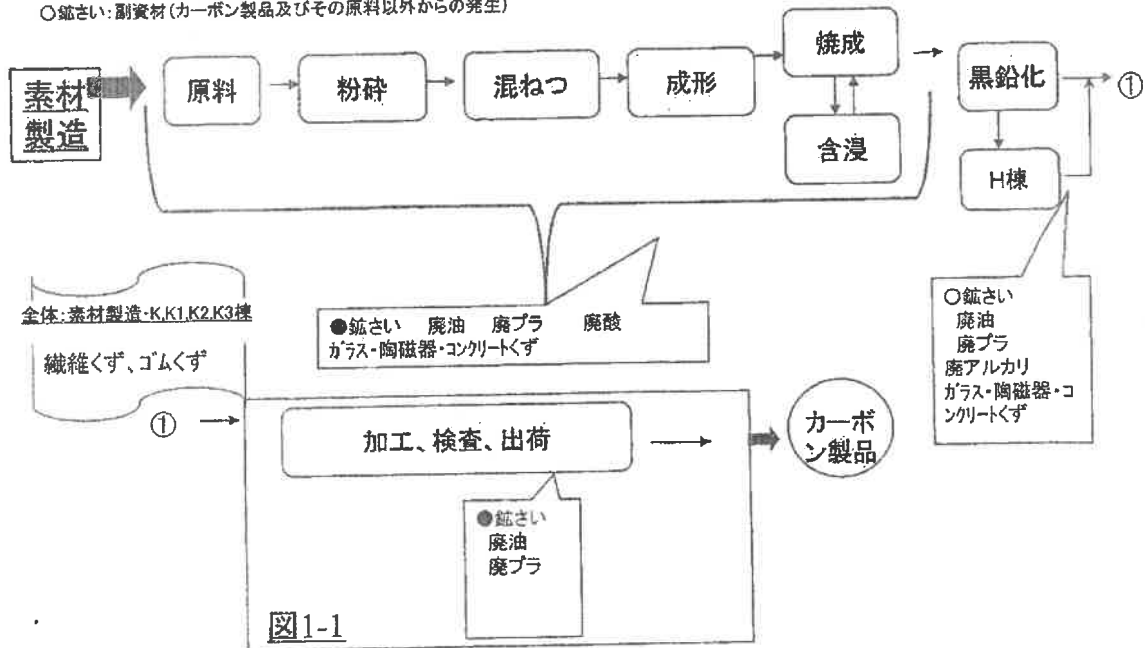
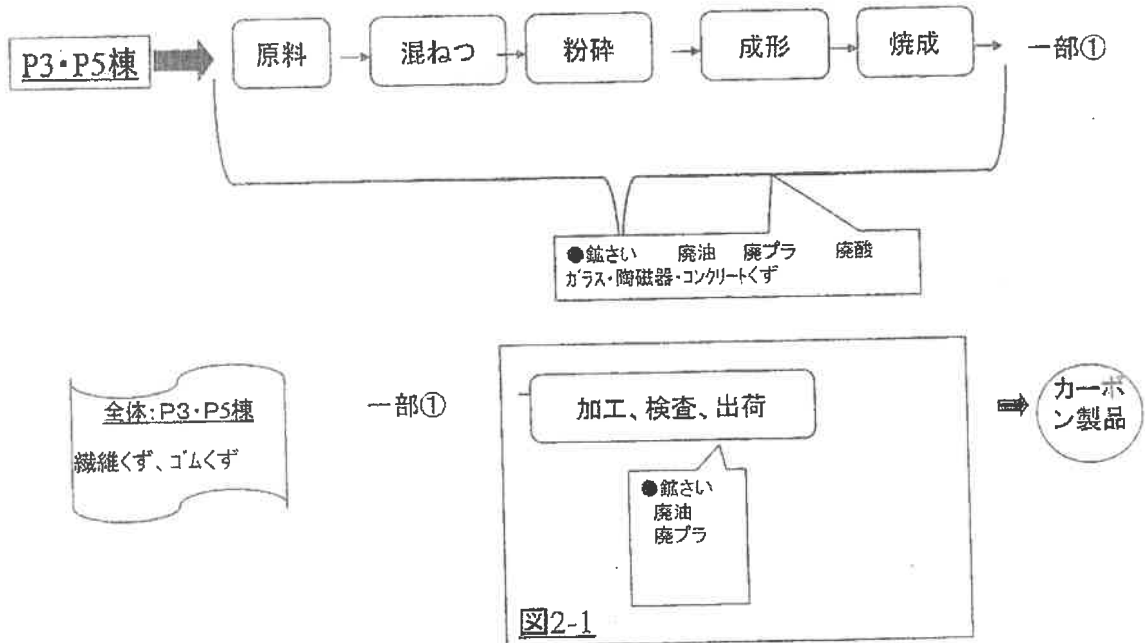
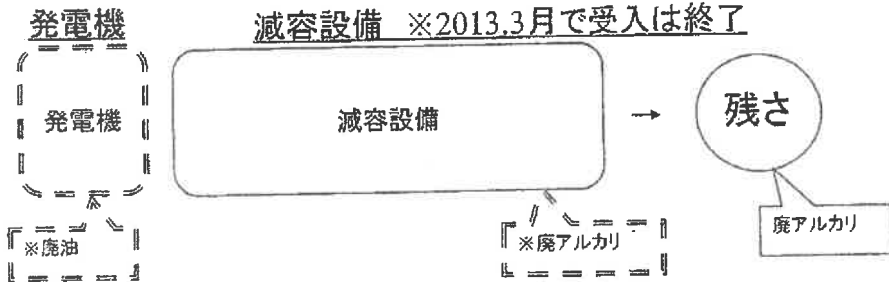
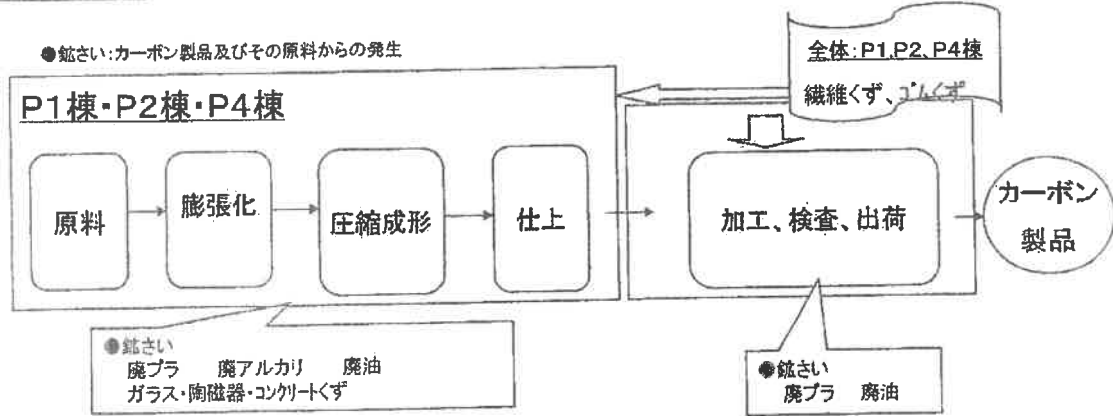


図1-1 (素材製造、K,K1,K2,K3棟、H棟)

- 鉛さい: カarbon製品及びその原料からの発生

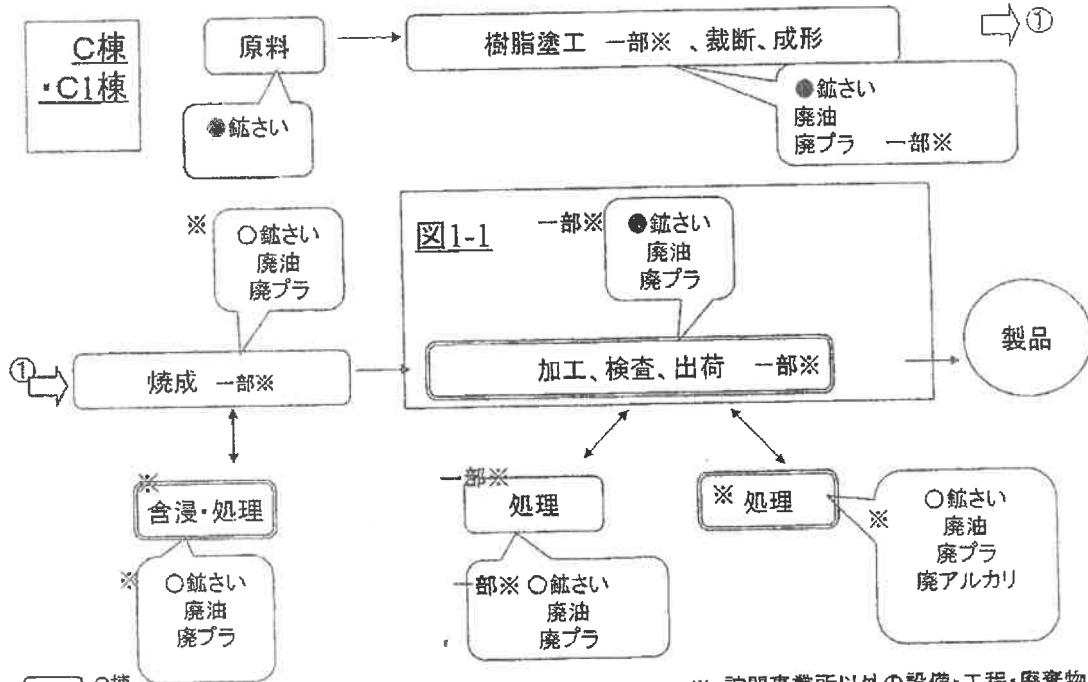


製造フロー図 (P3・P5棟)



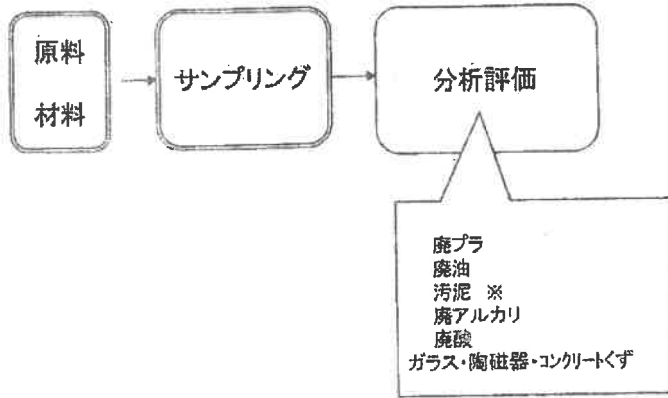
P1棟・P2棟・P4棟、発電機、減容設備

●鉍さい:製品およびその原料からの発生。○鉍さい:製品およびその原料以外からの発生。



製造フロー図(C棟・C1棟)

分析棟



※特別管理産業廃棄物 含む

他部署

製造フロー図(分析棟)

